

6 避難訓練(地震・津波)実施計画事例

中学校 避難訓練(地震・津波)実施計画事例

自分の命を守る

1 ねらい 地震・津波発生時に適切に行動できるよう、避難経路及び安全で迅速な行動について理解し、実践的な訓練を行うことで体得する。

〔行動目標〕 おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない(お・は・し・も)

2 日時 平成30年11月2日(金) 15:22～ 雨天中止 掃除なし

実施可否判断は14:30

15:22 地震発生(震度6強以上)放送①

地震情報を収集する。

部室側に向いて
南から2年1年3年の順で

15:25 津波警報発令 放送②

学級ごとにグラウンド中央にて集合点呼、そろった学級から高台の公園へ出発

16:00 高台の公園にて集合・点呼完了

16:05 講評など

16:15 徒歩で中学校へ移動する。

16:40 下校(到着した学級から点呼して学級担任が解散指示)

・2列で
・無駄話なし
・整然と!
・緊張感をもって

3 訓練内容

(1) 15:22 **地震発生** 放送を流す。(担当 教頭)

★授業担任→①放送を聞かせ、生徒に指示を出す。

机の下に入り、頭、上半身を保護させる。机の脚をしっかりと持たせる。

②急いで教室の出入り口のドアを開け、出口を確保する。

次の放送があるまでその場を動かない。

★職員室にいる職員→①校舎内の危険箇所を確認する。(担当 副担任 授業のない職員)

②情報を持ち寄り、避難経路を決定する。

(2) 15:25 **津波警報発令** 放送②

★授業担任→代議員を先頭に、男女一列ずつ出席番号順に廊下に並ばせ、グラウンドに集合、

授業担任は、教室内確認後、出席簿を持ってグラウンドにて点呼確認を行う。

全員そろっていれば学級ごとに避難場所(高台の公園)へ移動する。

そろっていない場合は搜索し、全員がそろうまで出発しない。

★職員室にいる職員→①避難経路誘導(担当 ○○, ○○, ○○, ○○, ○○, ○○)

②持参物の持ち出し(担当 主幹教諭, ○○, ○○, ○○)

(3) 家屋やブロック塀が倒壊していることを想定し、周囲の安全に気をつけながら静かに歩道を歩く。

避難想定ルートは別紙参照 原則 授業担任が先導して避難する。3-4は○○

(4) 16:00 公園で集合・点呼 グラウンド中央に、朝礼隊形に集合し整列する。(○○指示)

代議員に点呼させ、授業担任に報告させる。

「○年○組 全員います。」 →授業担任→学年主任→生徒指導部代表→管理職

「○年○組 ○○さんがいません。」 →授業担任→学年主任→学年教員で搜索開始

(5) 講評(司会 教頭)(校長あいさつ、まち協会長あいさつ、講評 市地域政策課 地域防災相談員)

(6) 16:15より 徒歩で中学校へ移動する。(経路にまち協の立哨協力あります。)

到着したクラスから、静かに教室へ戻り、学級担任の指示で全員そろったことを確認して解散。

4 地震発生時の避難経路

放送を聞いて避難経路を確認する。込み合う可能性があるため、“お・は・し・も”の行動目標に留意させる。

○東校舎で授業を受けているクラス・・・東校舎→グラウンド→グラウンド門→高台の公園へ

○北校舎で授業を受けているクラス・・・1年は渡り廊下から南校舎経由でグラウンドへ

3年は西階段で1階まで降りてグラウンドへ

その後1, 3年ともグラウンド門から出て高台の公園へ

グラウンド門の出口での安全指導 (○○)

5 係分担

○消防署・セコムへの事前連絡 (教頭) (必要があれば)

セコムTEL ※※-※※※※ 消防署TEL ※※-※※※※

○地震発生・校内放送 (教頭)

○計時・救護 (○○) ○生徒誘導→ (授業・学級担任) *出席簿を持参する。

○避難経路の安全確認 終わればすぐに避難経路の誘導へ

南校舎 (○○) 北校舎 (○○) 東校舎 (○○) グラウンド門 (○○)

校外 (○○, ○○)・・・異常なければトランシーバで連絡する。

○校内の避難経路の誘導 (南校舎 ○○) (北校舎 ○○) (東校舎 ○○)

○記録 (写真等) (○○)

6 別室 (学習室, 相談室, 保健室) にいる生徒

担当者とともに避難を行う。

7 持参物 *職員室にいる職員が分担して持ち出す。

ハンドマイク (○○) 緊急連絡カード+救急カバン (○○)

8 **事前準備** 昼休憩中に上履きを下足に履き替え、靴底をきれいにして5時間目からの授業を受ける。

美化委員は各学級4枚ずつのぬれ雑巾を下駄箱に準備する。訓練終了後に片付ける。

放 送 内 容

放送①

津波・地震訓練放送 津波・地震 訓練放送

「只今、強い地震が発生しました。生徒の皆さんは、机の下に入り、頭、上半身を保護してください。安全が確認できるまでその場を動かないでください。」

*繰り返す。 約50秒そのまま

放送②

「只今、津波警報が発令されました。16:15頃、大きな津波が沖に到着する危険があります。

生徒の皆さんは、次の避難経路を通して、グラウンドに学級ごとに集合し、点呼完了後、高台の公園グラウンドに避難してください。

北校舎2階で授業を受けているクラスは渡り廊下を通して南校舎西階段を下りてグラウンドに集合してください。

北校舎3階で授業を受けているクラスは西階段下りてグラウンドに集合してください。

東校舎は階段を下りてグラウンドに集合してください。

(南校舎の授業がある場合は、避難経路図のとおりアナウンスを追加するものとする。)

高台の公園までの避難は全員がそろった学級から順にグラウンド門から高台の公園に出発します。私語をせず、車や、倒壊している家屋に十分気をつけて移動してください。その際、必ず誘導の先生や地域の方の指示にしたがってください。」 *繰り返す。

9 避難訓練を終えて（反省点を次回の訓練にいかすこと）

避難開始後 16分58秒で高台の公園に避難が完了した。
以下、アンケートによる気づきを記載する。

- 1 予想より早く30分以内で避難完了という目標をクリアできた。
- 2 年1回は地震・津波想定避難訓練をこの時期に継続的に行いたい。
- 3 生徒が歩道いっぱいになると一般の方の通行に支障が出る。自動車の通行も考えられ、災害発生時ほどのように移動するのか検討が必要である。
- 4 地域の方がポイントに立哨指導をしてくださった。
- 5 歩くペースを早くしたらよい。生徒が避難を開始するタイミングを再確認したい。
- 6 放送は静かに聞く、移動も無言を徹底する。
- 7 高台の公園での生徒たちの態度もよかった。毎年やるべきである。
- 8 初めての取組では職員会議で役割分担や指導事項について、共通理解を図るとさらによい。
- 9 上履きで避難すべきであるが、ガラス、瓦礫、一次避難から連続して二次避難所への移動がある場合を考えると今の本校の上履きの耐久性、安全性に不安がある。価格が上がる心配はあるが、上履きの見直しも考える必要があるかもしれない。子どもには体育館シューズに履き替えて避難するとか、家庭では寝室に耐久性のある靴を準備しておく指導が必要である。
- 10 緊急連絡カードの持ち出しについては持ち出し用の袋が必要である。重いのでリュックタイプがあればよい。
- 11 今回は特別支援学級の生徒も交流学級からの避難だったが、授業担当の先生が特別支援学級の生徒の点呼確認ができてよかった。
- 12 歩道橋は安全なのかどうか疑問がある。（今年度改修工事があったばかりである。）
- 13 ○○さんはエレベータが使用できないことを想定すれば、車いす運搬2名、本人の移動介助1名の3名は必要となる。生徒も含めて支援体制を確認する必要がある。本人も支援を周囲に求められるよう練習をしておく。
- 14 静かに移動できたかも大事であるが、実際の災害のときを考えて移動できたかという視点で評価し、次の訓練に生かす必要がある。ハザードマップを使った学習など、自分事として考えざるを得ない状況を生徒に指導しておく必要がある。

別紙資料 高台の公園避難訓練紙上シミュレーション

釜石の奇跡 災害から命を守る避難3原則

- 原則1：想定にとられるな
- 原則2：その状況下で最善を尽くせ
- 原則3：率先避難者たれ



- 中学校のある場所の海拔高さは、 **1.5m** →
- 南海トラフ地震 震度6強以上 想定
- 最高津波水位 満潮時 **2~5m**
- 最大波到達時間 **218分**
- 津波影響開始時間 **26分**

これはあくまで気象庁の想定であり、想定をこえる可能性、津波以外に建物倒壊液状化現象など様々な災害が考えられる。

そこで11月2日（金）に津波想定全校避難訓練を実施する

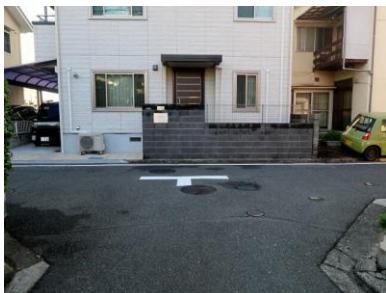
各ホームルームから、高台の公園（海拔5m以上の所にあり、かつ、浸水想定区域外にあり、市の指定緊急避難場所である。）へ一次避難する。

指定緊急避難場所・指定避難所 Designated emergency evacuation area・Designated emergency shelter 指定应急疏散场所・指定避难所 / 지정 긴급 피난 장소·지정 대피소						
	土砂 Landslide 泥石流 土石	洪水 Flood 洪水 홍수	高潮 Storm surge 风暴潮 暴潮해일	地震 Earthquake 地震 지진	津波 Tsunami 海啸 지진해일	公園
●指定緊急避難場所 災害時に避難する場所						
●指定避難所 一定期間避難生活を営む施設						
指定緊急避難場所	×	○	○	○	○	
指定避難所	×	×	×	×	×	

- ①スタート ○○先導 グラウンド門 (○○) ②左折 (○○) +まち協1 ③直進



④右折 (〇〇)



⑤店を左折 (まち協2)



⑥直進, (まち協3) つきあたりを右折



⑦直進 (まち協4)



⑧△△食堂前を左折 (〇〇+まち協5) ⑨西へ進む (まち協6)



⑩歩道橋入口 (まち協7)



⑪陸橋を渡って (まち協8)



⑫歩道橋出口から西へ (まち協9)



⑬直進



⑭高台の公園入口看板右折 (まち協10)



⑮歯科院を直進



⑩高台の公園入口（まち協 1 1）



⑪坂の途中でスロープを選択（まち協 1 2）



⑫スロープ途中（まち協 1 3）



⑬公園の東から広場へ進入（まち協 1 4）



⑭〇〇先生の全体指示で整列する。



広場へ全員集合し、点呼、報告、健康観察、講評後、同じルートで帰校する。

帰校時の安全確保のためにまち協の 14 名の方が見守りをしてくださるので感謝の言葉を述べる。

タイムスケジュール

出発 15時25分

点呼完了 16時00分

高台の公園出発 16時15分頃

帰校完了、解散 16時40分頃

トランシーバー持参で要所に職員配置

先導・集合指示 **〇〇①**

避難誘導 **〇〇②**

救護 **〇〇③**

最後尾 **教頭④**

まち協 **担当者⑤**

※ **まちづくり協議会 14 名（避難経路の立哨として）**

市地域政策課 地域防災相談員のご協力、ご指導を行っていただく。